

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第35号(2026年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第32回シンポジウム報告「ジェンダーの構造を考える—見えない枠を超えて、未来を創る— I 女性公務員の活躍を阻むもの—なぜ昇進を望まないのか—	荒見 玲子(名古屋大学大学院法学研究科教授)
2	II 日本人看護師はなぜ海外へ向かうのか—看護師のキャリアとジェンダー—	那須ダグバ 潤子(京都橘大学看護学部看護学科准教授)
3	III 討論	荒見/那須ダグバ/竹内 直人(本学経済学部経済学科教授)
4	〈論文〉高等教育を受けた明治期クリスチャン—女性の生涯—宮川敏小伝—	三木 恵里子(京都大学大学院教育学研究科教育学専攻 博士後期課程)
5	〈論文〉一九〇四年修道会教育禁止法に対する女子修道会の抵抗	山内 由賀(京都橘大学文学部歴史学科専任講師)
6	〈論文〉厚生(厚生労働)省女性局長のキャリアパス分析—一九五八年・一九六四年・一九八七年の厚生省入省者を対象に—	近藤 貴明(新潟大学教育研究院 自然科学系理学部特任教員)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第34号(2025年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第31回シンポジウム報告「紫式部と女房の時代」 I 紫式部の宮仕え	福嶋 昭治(園田学園女子大学名誉教授/元本学文学部教授)
2	II 中下級貴族出身の女房たち	増淵 徹(和歌山県立紀伊風土記の丘館長/本学名誉教授)
3	III 討論	福嶋/増淵/野村(本学文学部日本語日本文学科教授)
4	〈論文〉宗尊親王御息所近衛幸子について —『源氏物語』の「物語の女」と伊予国新居庄支配—	細川 涼一(本学名誉教授/元学長)
5	〈論文〉美的労働の歴史的変遷と位置づけ —客室乗務員の事例から—	長船 亜希子(千葉大学大学院人文科学研究員特別研究員)
6	〈研究ノート〉総理府男女共同参画室長・内閣府男女共同参画局長のキャリアパス分析 —ナショナル・マシーナリー官僚制の研究(一九七五年—二〇二四年)—	近藤 貴明(新潟大学教育研究院 自然科学系理学部特任教員)
7	〈研究ノート〉『吾妻鏡』における鎌倉幕府女房の基礎的考察	濱田 浩一郎(大阪観光大学観光学研究所客員研究員)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第33号(2024年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第30回シンポジウム報告 「歴史の中の女性を読み直す—女性史研究のいま—」 I 日仏の女性史研究のいま	渡邊 和行(元本学文学部歴史学科特任教授/奈良女子大学名誉教授)
2	II 日本中世女性史研究の軌跡 —脇田晴子・田端泰子氏を中心に—	細川 涼一(本学名誉教授/元学長)
3	III 女性史総合研究会発足の頃 橘女子大 そして今	西野 悠紀子(女性史研究者/女性史総合研究会委員)
4	IV 討論	渡邊/細川/西野/野田(本学文学部歴史学科教授/女性歴史文化研究所所長)
5	〈論文〉稲垣足穂と伏見桃山 —『宇治桃山はわたしの里』によせて—	細川 涼一(本学名誉教授/元学長)
6	〈論文〉森鷗外『雁』論 —『金瓶梅』との比較を視座として—	丁 若思(本学文学研究科歴史文化専攻博士後期課程)
7	〈研究ノート〉文部(文部科学)省女性局長のキャリアアツリー・キャリアパス分析 —文部(文部科学)省同期入省者(男性)との比較分析を通して—	近藤 貴明(新潟大学教育研究院 自然科学系理学部特任教員)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第32号(2023年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集「京都の女性史Ⅱ」 〈論文〉京の扇文化と女性	南 健太郎(文学部歴史遺産学科准教授)
2	〈論文〉出家・卒去した受領の官物弁済をめぐる— —受領の妻は官物の完済に責任を有するか—	増淵 徹(文学部歴史学科教授/第13プロジェクト・リーダー)
3	〈論文〉『栄花物語』の皇后城子 —「母」像を読む—	野村 倫子(文学部日本語日本文学科教授)
4	〈論文〉丹後局高階栄子と山科小野莊	細川 涼一(名誉教授)
5	〈論文〉鎌倉初期の京都守護をつとめた御家人中原親能とその家族	田端 泰子(名誉教授)
6	〈論文〉播磨守護赤松則祐・義則周辺の女性たち —京極御母・七条大方殿・なな局・西向殿—	野田 泰三(女性歴史文化研究所所長/文学部歴史学科教授)

7	<論文>山科言国の妻 —室町戦国期を生きたある公家の女性の生涯—	米澤 洋子(女性歴史文化研究所客員研究員)
8	<論文>戦国時代の鞠足「中納言」について —十六世紀の女性と蹴鞠—	尾下 成敏(文学部歴史学科教授)
9	<論文>明治時代の京都府立第一高等女学校における教育の一断面 —『鴨沂会雑誌』をもとに—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科教授)
10	<論文>ジャンヌ・ブーヴィエ —とあるフランス人女性労働者の半生—	渡邊 和行(文学部歴史学科教授)
11	<論文>20世紀イランを生きたシーア派女性ウラマー ノスラト・アミン	杉山 隆一(文学部歴史学科准教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第31号(2022年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第29回シンポジウム報告 「考古遺物からみる先史の女性・子ども・家族」 I 縄文時代の家族と母性—北海道の縄文遺跡を事例として—	阿部 千春(北海道庁縄文世界遺産推進室特別研究員/ 元函館市縄文文化交流センター館長)
2	II 古墳時代の家族・ジェンダー—近畿地域の事例を中心として—	中久保 辰夫(本学文学部歴史遺産学科准教授)
3	III 討論	阿部/中久保/増淵(本学文学部歴史学科教授)
4	<論文>森鷗外『魚玄機』論	丁 若思(本学文学研究科歴史文化専攻博士後期課程)
5	<研究ノート>「特別の教科 道徳」の教科書の内容分析—ジェンダーの視点から—	藤岡 秀樹(本学発達教育学部児童教育学科教授)
6	<研究ノート>労働(厚生労働)省女性局長のキャリアパス分析 —一九五〇—一九八五年の労働者入省者を対象に—	近藤 貴明(元新潟県事務職員(行政職))
7	<史料紹介>本学所蔵山科言継位記・同言経位記について	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第30号(2021年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 座談会 第2回 「女性歴史文化研究所開設30年に向けて」	田端 泰子(本学名誉教授) 鎌田 明子(本学名誉教授) 志賀 亮一(本学名誉教授) 増淵 徹(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長) 北川 千差子(本学学術振興課職員)
2	<論文>村上春樹と蹴上・山科 —『猫を乗てる 父親について語るとき』によせて—	細川 涼一(本学名誉教授)
3	<論文>一遍上人と尼僧集団 —『一遍聖絵』に描き分けられた尼の顔—	米澤 洋子(本学非常勤講師)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第29号(2020年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 座談会「女性歴史文化研究所開設30年に向けて」	田端 泰子(本学名誉教授) 細川 涼一(本学名誉教授) 松浦 京子(本学文学部歴史学科教授) 増淵 徹(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長) 北川 千差子(本学学術振興課職員)
2	<論文>記録に見る山科の街道と旅 —伏見街道・三条街道(東海道)・毘沙門堂—	細川 涼一(本学名誉教授)
3	<研究ノート>Inclusive and Equitable Quality Education: An Exploration of a Shared Preference for Active Learning	マルヴィ,アラン(本学国際英語学部国際英語学科助教)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第28号(2019年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第28回シンポジウム報告 「近代ヨーロッパにおける女性の社会進出—イギリスとフランスの事例から—」 I 近代ヨーロッパにおける女性の社会進出—フランスの事例、教職を中心に—	松田 祐子(大学非常勤講師)
2	II アマチュア・ヴォランティアからプロフェッションへ —前世紀転換期イギリスの女性福祉活動から社会進出を考える—	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	松田/松浦/渡邊
4	<論文>北条政子の熊野詣とその意義	田端 泰子(本学名誉教授)

5	〈研究ノート〉西洞院時子の禁裏出仕—豊臣政権期のある女官とその父の動向—	尾下 成敏(本学文学部歴史学科准教授)
6	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(昭和前期篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)
7	〈史料紹介〉エリザベス・カーター書簡集(翻訳と解題)	大久保 友博(本学国際英語学部国際英語学科助教)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第27号(2018年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第27回シンポジウム報告「発信する皇女たち —斎王を中心に—」 I 発信する皇女たち —斎王を中心に—	榎村 寛之(斎宮歴史博物館副参事兼学芸普及課長)
2	II 宣陽門院観子内親王の夢	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	榎村／野田／増淵
4	〈論文〉中近世移行期における村落の動向 —山科東庄三郎兵衛の「家」の存続を事例として—	米澤 洋子(本学非常勤講師)
5	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(大正篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)
6	〈史料紹介〉ジェイン・バーカー「乙女の生活」ほか(翻訳と解題)	大久保 友博(本学国際英語学部国際英語学科助教)
7	〈論文〉吉田隆子の昭和初期における創作活動 —モダニズムからプロレタリア音楽へ—	佐野 仁美(本学発達教育学部児童教育学科准教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第26号(2017年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 開設25周年記念シンポジウム報告 「食の歴史とジェンダー —日本とアジア—」 I 共食という文化	原田 信男(国士舘大学21世紀アジア学部教授)
2	II 『共食という文化』へのコメント	阿良田 麻里子(立命館大学客員教授)
3	III 『食とジェンダー』の視点から	南 直人(本学文学部歴史学科教授／ 女性歴史文化研究所所長)
4	IV 討論	原田／阿良田／南
5	〈論文〉戦国期播磨における大名家妻室について —赤松政則後室洞松院を中心に—	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)
6	〈論文〉安政元年の下田休息所問題と阿部正弘政権	後藤 敦史(本学文学部歴史学科准教授)
7	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(明治篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第25号(2016年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第25回シンポジウム報告 「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケア —食とファッションを中心に—」 I 消費社会の発展と近代的身体の発見	北山 晴一(立教大学名誉教授)
2	II 19/20世紀転換期ドイツにおける食改革運動と身体イメージ	南 直人(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	北山／南／松浦
4	〈論文〉母たちの昭和史 —高久タケ・柏原シゲ—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
5	脇田先生追悼文(1) 大学人・教育者としての脇田晴子先生	田端 泰子(本学名誉教授)
6	脇田先生追悼文(2) 脇田晴子先生を偲んで	鎌田 明子(本学名誉教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第24号(2015年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第24回シンポジウム報告「近代と働く女性たち」 I 明治・大正期のメディアと働く女性	佐伯 順子(同志社大学大学院社会学研究科教授)
2	II ヴィクトリア・エドワード朝 イギリスの女性労働	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	佐伯／松浦／南
4	〈論文〉將軍家と日野家・山科家 —日野康子と日野栄子の役割を中心に—	田端 泰子(本学名誉教授)
5	〈資料紹介〉全国高等女学校長協会(編)『全日本郷土料理』(1940年) —戦時の食や郷土食に関する文献研究のために—	南 直人(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第23号(2014年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第23回シンポジウム報告「近代社会の病氣と女性」 I 福祉国家以前のイギリスにおいて貧民はいかに看護されたか	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
2	II 明治の村は病氣にどう対応したのか —京都近郊農村を対象に—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
3	〈論文〉大坂落城に遭遇した二人の女房於菊とおきく	田端 泰子(本学名誉教授)
4	〈論文〉19世紀後半のイギリスにおける巡回訪問看護 —リパブル・スキームとランヤード・ミッションの活動を中心に—	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第22号(2013年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第22回シンポジウム報告「江戸時代の病氣と女性」 I 江戸時代の結核と女性	鈴木 則子(奈良女子大学大学院生活環境科学系教授)
2	II 幕末京都の医家と医療	有坂 道子(本学文学部歴史遺産学科准教授)
3	〈論文〉『玄朔道三配剤録』と『医学天正記』から見た曲直瀬玄朔一門の患者とその時代 —とくに秀吉の番医制との関係を軸に—	田端 泰子(本学名誉教授)
4	〈論文〉毛利元就継室「中の丸」の出自	西尾 和美(本学女性歴史文化研究所研究員)
5	〈史料紹介〉三位法眼家傳秘方百二十種書	米澤 洋子(本学非常勤講師)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第21号(2012年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	〈論文〉戦国期—織豊政権期におけるマスキュリニティーの発現形態とその観念・影響	田端 泰子(本学名誉教授)
2	〈論文〉豊臣期から江戸初期における毛利氏妻室に関する一考察 —清光院と家臣・近親女性との関係を中心に—	西尾 和美(本学女性歴史文化研究所研究員)
3	〈論文〉降嫁後の和宮 —朝幕関係上の役割を中心に—	野村 晋作(立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程)
4	〈論文〉母乳が政治性を帯びるとき —20世紀初頭ドイツにおける乳児の生と死をめぐる—	南 直人(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第20号(2011年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 田端泰子氏と日本中世女性史 特集にあたって	
2	I 田端泰子氏と中世女性史研究の現在 —ジェンダー史研究の展開を視野に入れて—	西尾 和美(鳴門教育大学嘱託講師)
3	II 田端泰子氏と中世村落史研究	志賀 節子(関西大学非常勤講師)
4	III 田端泰子略年譜	田端 泰子(本学名誉教授)
5	IV 田端泰子著書・論文目録	
6	女性歴史文化研究所 第20回シンポジウム報告「日本中世における女性の生活と表象」 I 鉢かづきの民話から長谷寺の夢へ	保立 道久(東京大学史料編纂所教授)
7	II 中世女性の坐態からみた衣と住	田端 泰子(本学名誉教授)
8	第二特集 日本近世女性史 I 長崎丸山遊郭の「遊女屋宿泊人帳」覚書	横田 冬彦(本学文学部歴史学科教授)
9	II 近世の配偶者間暴力に関する一考察 —『弘前藩庁日記(御国)』の事例をもとにして—	真島 芳恵(本学非常勤講師)
10	III 近世商家の妻役割 —婚姻を中心に—	伊藤 麻佑子(本学大学院博士前期課程修了)
11	IV 幕末期江戸藩邸の奥向 —前橋藩松平家記録「朝夕申継帳」を素材に—	水沼 尚子(本学大学院博士前期課程修了)

## 京都橋大学 女性歴史文化研究所紀要 第19号(2010年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第19回シンポジウム報告「幕末・明治の京都と女性」 I 幕末維新の朝・幕の女性 —和宮と九条夙子をめぐって—	辻 ミチ子(元・宇治市歴史資料館館長)

2	II 明治の京都を訪れた外国人皇族たち —イギリス・ロシア・オーストリアの皇族たち—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
3	<論文>白洲正子の能楽論 —日本文化へのまなざし	野村 幸一郎(本学文学部日本語日本文学科教授)
4	<研究ノート>山本まさはる「千日前ドリーミング ヘビ食い少女」と 林静一「大道芸人」 —マンガと見世物—	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第18号(2009年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 日本中世の家と女性 I 明智光秀の親族・家臣団と本能寺の変	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
2	II 後鳥羽院政における春華門院昇子内親王の位置	三好 千春(本学大学院文学研究科博士後期課程満期退学)
3	III 名越氏と二月騒動	小野澤 朋佳(本学大学院文学研究科博士前期課程修了)
4	IV 山科家の栗贈答 —中世後期の贈与に関する一考察—	米澤 洋子(女性歴史文化研究所リサーチアシスタント)
5	V 戦国乱世を生きた家族 —大坂夏の陣を中心に—	大嶽 王子(本学大学院文学研究科博士前期課程修了)
6	女性歴史文化研究所 第18回シンポジウム報告「歴史のなかの子どもの行方」 I 江戸時代における子どもの行方	沢山 美果子(岡山大学社会文化科学研究科客員研究員)
7	II 平安京と捨て子に関する覚書	増淵 徹(本学文学部歴史学科教授)
8	<論文>ディルシャート・ハトンとファルマーン —14世紀イランにおける女性の発令書—	小野 浩(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第17号(2008年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第17回シンポジウム 「語り物文芸と女性 —日本中世～近世にかけて—」 I 中世語り物文芸と女性 —女性の果たした役割について—	砂川 博(相愛大学人文学部教授)
2	II 高野聖と伝承 —横笛の周辺—	阪口 弘之(神戸女子大学文学部教授/ 神戸女子大学古典芸能センター所長)
3	III 常盤 —源義経の母—	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長)
4	<論文>「松前稼」の理想と現実 —弘前藩「藩日記」の事例をもとにして—	真島 芳恵(本学文学部大学院文学研究科博士後期課程)
5	<論文>幕末開港場における外国人向け遊郭 —箱館山之上遊郭を中心に—	福田 美穂(京都府立大学大学院文学研究科博士前期課程修了)
6	<研究ノート>女房日記にみる和宮親子内親王降嫁の一側面 —宰相典侍・庭田嗣子とその記録について—	北上 真生(日本学術振興会特別研究員)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第16号(2007年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 15周年記念シンポジウム(2007.7.22) 「男女共同参画社会をめざして —その歩みと課題—」 I 女性差別撤廃条約と男女雇用機会均等法をめぐって	赤松 良子(元文部大臣、元労働省婦人少年局長、 (財)びわ湖ホール顧問)
2	II 京都府の女性政策について	長濱 英子(京都府府民労働部女性政策課長)
3	III はんなりとはいかないおんなの生き方働き方 ～NPO活動の現状と課題～	吉田 秀子(特定非営利活動法人 働きたいおんなたちの ネットワーク理事長)
4	IV 討論	赤松/長濱/吉田/松浦/上原/河原
5	特集 ホスピタリティと女性文化(第9プロジェクト報告) 研究プロジェクト趣意	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長)
6	I 19世紀イギリスにおけるディストリクト・ヴィジティング —女性文化としてのホスピタリティ、覚え書き—	
7	II 19世紀後半イギリスにおける博覧会と「もてなし」 —博覧会にみるホスピタリティとしての娯楽的要素—	川本 真浩(高知大学人文学部人間文化学科准教授)
8	III 食のホスピタリティ —近代ヨーロッパの飲食提供業に関する研究の可能性—	南 直人(本学文学部歴史学科教授)
9	<論文>河越重頼の娘 —源義経の室—	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授)
10	<論文>日本中世の出産の光景と病の看護	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
11	<書評>上野千鶴子『おひとりさまの老後』・『当事者主権』—最近の上野千鶴子を読む—	碓井 敏正(本学文化政策学部文化政策学科教授)

12	〈書評〉ドロシー・コウ著、小野和子・小野啓子訳『纏足の靴 —小さな足の文化史—』	蒲 豊彦(本学文学部日本語日本文学科教授)
13	記録『女の怪異学』合評座談会(2007.12.24)	野村／鈴木／林／蒲／安達／鎌田／杉山／三好／松浦／米澤

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第15号(2006年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第15回シンポジウム(2006.12.9) 「織豊政権期の男女像とその規範化 —山内一豊・千代を中心に— I 戦国から近世へ —時代のうねりとそこに生きた人々—	小和田 哲男(静岡大学教育学部教授)
2	II 創られた女性像 —戦国・近世・明治—	長野 ひろ子(中央大学経済学部教授)
3	III 戦国の女性の生き方 —山内千代、おねを中心に—	田端 泰子(本学学長／文学部歴史学科教授)
4	IV 討論	小和田／長野／田端
5	〈論文〉豊臣政権の人質・人質政策と北政所	田端 泰子(本学学長／文学部歴史学科教授)
6	〈論文〉都市漂流民のナショナリズム —林芙美子と日支事変	野村 幸一郎(本学文学部日本語日本文学科助教授)
7	〈論文〉近年の中国における離婚女性の諸問題に対する女性たちの動向	遠山 日出也(立命館大学非常勤講師)
8	〈書評〉鎌田明子『性と生殖の女性学』	河原 和枝(本学文化政策学部現代マネジメント学科教授)
9	〈書評〉沢山美果子『性と生殖の近世』	齊藤 友美(本学大学院文学研究科歴史学・文化財学専攻博士前期課程)

## 京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第14号(2005年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所国際シンポジウム「ミシンと女性と経済」 I ミシンの宣伝と利用から読み取る女性像	アンドリュー・ゴードン(ハーバード大学教授／本学名誉教授)
2	II ミシンは女性を解放したか? —インドネシア女性にとっての縫製労働の意味—	中谷 文美(岡山大学大学院文化科学研究科助教授)
3	III 19世紀イギリスの衣類縫製業と女性ミシン掛け工	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授／女性歴史文化研究所所長)
4	IV コメントおよび討論	木村 健二(下関市立大学経済学部国際商学科教授)
5	〈論文〉「尊厳」概念から見直した日本軍「慰安婦」問題 —「証言」と高齢者介護問題の観点から—	坂本 知壽子(韓国・延世大学大学院社会科学博士課程)
6	〈論文〉植民地台湾における技芸教育の実態と変遷 —台北第三高等女学校を例として—	滝澤 佳奈枝(台湾・淡江大学日本研究所修士課程修了)
7	〈海外紹介〉1 ソウルの第9回世界女性学大会に参加して	米澤 洋子(本学大学院文学研究科歴史学・文化財学専攻博士後期課程)
8	〈海外紹介〉2 大英博物館“KABUKI HEROES on the Osaka stage,1780-1830” (大坂歌舞伎のヒーローたち)展をめぐって	林 久美子(本学文学部日本語日本文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第13号(2004年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 「男女共生」の歴史と現在 I 日本における高等教育の変遷と男女共学の理念	田端 泰子(本学学長／文学部歴史学科教授)
2	II 座談会「女子大学から共学へ」	渡部 翁(本学文化政策学部文化政策学科教授) 他3名
3	女性歴史文化研究所国際シンポジウム「アジアにおける良妻賢母主義」 I 韓国における賢母良妻の歴史的役割と現在	洪 良姫(韓国・漢陽大学校人文科学大学講師)
4	II 日本における良妻賢母主義の盛衰	ひろた まさき(本学文学部歴史学科教授／女性歴史文化研究所所長)
5	III 近代中国における賢妻良母主義 —その歴史と現在—	程 郁(中国・上海師範大学人文学院助教授)
6	IV コメントおよび討論	姫岡 とし子(立命館大学国際関係学部教授)
7	女性歴史文化研究所公開研究会 I 女性解放、フェミニズム、ジェンダー研究 —女性研究と近代中国—	桑 兵(中国・中山大学歴史系教授)
8	II 懐胎・出産取締りにみるく産む>身体の位相 —近世末・陸奥国一関藩の場合—	沢山 美果子(順正短期大学幼児教育科教授)
9	〈書評〉1 井野瀬久美恵著『植民地経験のゆくえ —アリス・グリーン・のサロンと世紀転換期の英帝国』	宮崎 章(本学文学部歴史学科非常勤講師)
10	〈書評〉2 辻由美著『火の女シャトレ公爵夫人 18世紀フランス、稀代の科学者の生涯』	志賀 亮一(本学文化政策学部文化政策学科教授)

11	〈書評〉3 袖井孝子著『少子化社会の家族と福祉 —女性と高齢者の視点から—』	吉原 千賀(奈良女子大学生生活環境学部人間環境学科助手)
12	〈書評〉4 L・バンクロフト/J・G・シルバーマン著/幾島幸子訳 『DVIにさらされる子どもたち —加害者としての親が家族機能に及ぼす影響—』	神崎 光子(本学文学部英語コミュニケーション学科講師)
13	〈書評〉5 M・L・LeCompte, Cowgirls of the Rodeo: Pioneer Professional Athletes.	リー・トンプソン(早稲田大学スポーツ科学部スポーツ文化学科教授)
14	〈書評〉 J.Burbick, Rodeo Queens and the American Dream.	
15	〈海外紹介〉1 上海の国際シンポジウムに参加して	小野 和子(本学名誉教授)
16	〈海外紹介〉2 第4回フランス東洋陶磁器学会参加記	弓場 紀知(本学文学部文化財学科教授)
17	〈海外紹介〉3 二つの六十周年 —パリ解放とフランス女性参政権—	服部 春彦(本学文学部歴史学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第12号(2003年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 異文化経験と女性 I アリス・ベーコンと『日本の女性』—異文化体験としての「日本女性」—	藪田 貫(関西大学文学部教授)
2	II 女性歴史文化研究所第12回シンポジウム「異文化体験と女性」開催記録1 基調講演「大英帝国のレディたち」	井野瀬 久美恵(甲南大学文学部教授)
3	III 女性歴史文化研究所第12回シンポジウム「異文化体験と女性」開催記録2 基調講演「日本『帝国』の主婦たち」	ひろた まさき(本学歴史学科教授)
4	IV 〈史料紹介〉アデル M. フィールドと19世紀中国の女性	蒲 豊彦(本学歴史学科教授)
5	〈投稿論文〉View toward Menstruation in Japan in the Meiji and Taisho Eras — Based on Fujin Eisei Zasshi (Women's Health Journal) —	田中 ひかる(横浜国立大学大学院 環境情報学府博士課程後期在籍)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第11号(2002年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 戦争と女性 I 「戦国社会と女性の役割」 京都橘女子大学開学35周年記念女性歴史文化研究所開設10周年記念シンポジウム記録	
2	II 「大坂冬・夏の陣」に収斂する淀殿の役割	田端 泰子(本学歴史学科教授)
3	III 近代日本の戦争と女性	ひろた まさき(本学歴史学科教授)
4	Women Communicating Electronically: War of Words	Blake E. Hayes(平安女学院大学短期大学部 英語コミュニケーション学科講師) Salem K. Hicks(本学外国語教育研究センター講師)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第10号(2001年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 変貌する家族像 近世女性奉公人にとっての婚姻と出産 —陸奥国安積郡下守屋村人別改帳の数量分析—	落合 恵美子(国際日本文化研究センター助教授)
2	幕末から明治初期における妻の氏と夫婦財産制についての考察	植木 壽子(本学歴史学科教授)
3	旗袍、纏足、入れ墨(下) —近代の中国人は女性の身体と服飾をどう見たか—	羅 蘇文(上海社会科学院歴史研究所研究員)
4	「北野社宮仕沙汰承仕家文書」内短冊群について	大城 紅美子(本学歴史学科卒業生)
5	春日局に見る乳母役割の変質	田端 泰子(本学歴史学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第9号(2000年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	世紀転換期イギリスの労働者女性運動にみるフェミニズム —女性協同組合ギルドと母性支援要求—	松浦 京子(本学歴史学科教授)
2	旗袍、纏足、入れ墨 —近代の中国人は女性の身体と服飾をどう見たか—	羅 蘇文(上海社会科学院歴史研究所研究員、 女性歴史文化研究所客員研究員)
3	女性とエゴイズム —D.H.Lawrence, "The Blue Moccasins" 試論—	井上 径子(本学・同志社女子大学他非常勤講師)
4	外国人留学生から見た日本のメディアの中のジェンダー	岡本 宜子(テュービンゲン大学同志社日本語センター日本語講師)

5	『天正狂言本』の中世の様相と女性ジェンダー	田端 泰子(本学歴史学科教授)
---	-----------------------	-----------------

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第8号(1999年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	『チャタレー夫人の恋人』を「性と愛の教科書」として読む(Ⅱ)	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
2	英日翻訳と女性の文体 —W.B.Yeats, “Crazy Jane Talks with the Bishop” の翻訳を例に—	塩田 栄子(龍谷大学大学院博士後期課程)
3	経元善と中国女学堂	小野 和子(本学歴史学科教授)
4	大阪の改良演劇にみるフェミニズム	林 久美子(本学国文学科助教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第7号(1998年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	1920年代広州の婢女解放と風俗改革	蒲 豊彦(本学国文学科助教授)
2	中国の改革開放と村の女性たち —『中国婦女』の記事から—	久富木 幸子(龍谷大学非常勤講師)
3	英語における性とことば —「丁寧さ」と女性ことばを中心に—	北林 利治(本学英語英文学科教授)
4	『チャタレー夫人の恋人』を「性と愛の教科書」として読む(Ⅰ)	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
5	女性歴史文化研究所第2プロジェクト「現代社会と女性」 女子大学生の意識調査結果(1998年度) —「男らしさ」「女らしさ」「結婚」「仕事」家族」について—	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
6	芥川龍之介「おぎん」私読 —主人公・おぎんをめぐって—	萬田 務(本学国文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第6号(1997年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	自意識と「運命」—T. E. ロレンス論(2)—	浅井 雅志(本学英語英文学科教授)
2	フランスにおける女性史の諸傾向	ミシェル・ペロー(パリ第七大学名誉教授)
3	セクシャル・ハラスメントの法的責任	植木 壽子(本学歴史学科教授)
4	アメリカにおけるセクシャルハラスメントと「合理的平均女性」基準の再考	中本 明子(近畿大学非常勤講師)
5	中世後期文化の様相 —山科家の日記にみる「花」—	小林 善帆(滋賀文化短期大学非常勤講師)
6	近松秋江関係史料二篇 —前沢キエ「蒼茫如夢」、徳田道子「白鳥氏と父秋江」—	中尾 務(本学国文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第5号(1996年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	日本的雇用・能力主義・フェミニズム	碓井 敏正(本学歴史学科教授)
2	裏切られた肉体—T. E. ロレンス論(1)—	浅井 雅志(本学英語英文学科教授)
3	How “Ceremonial” was Edo Period Noh? A Reassessment of Shikigaku	Eric C. Rath(女性歴史文化研究所研究員)
4	芥川龍之介「偷盗」側面—女たちのもうひとつの物語—	萬田 務(本学国文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第4号(1995年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	現代英国女性劇作家点描	平田 康(本学英語英文学科教授)
2	贈答慣行とバラオの女性たち —「シュウカン」への理解に向けて—	安井 真奈美(大阪大学大学院博士課程)
3	女性歴史文化研究所第2プロジェクト「現代社会と女性」 女子大学生の意識調査結果 —「男らしさ」「女らしさ」「結婚」「女性と仕事」「親と子」について	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
4	芥川龍之介「地獄変」ノート —良秀の娘をめぐって—	萬田 務(本学国文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第3号(1994年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	王朝物語における女房の造型 -『夜の寝覚』における「対の君」の呼称-	鈴木 紀子(本国国文学科教授)
2	イギリス小説の中の女たち -イギリス小説の抬頭と女性差別の時代-	杉山 泰(本学英語英文学科教授)
3	文学にあらわれた妊娠中絶問題[II] -「家族の名において」ギロチンを・『主婦マリーがしたこと』の世界-	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
4	現代中国の女性誘拐事件	蒲 豊彦(本国国文学科助教授)
5	女性文化と女性史 - <i>L'histoire des femmes en Occident</i> 翻訳ノート-	志賀 亮一(本学英語英文学科教授)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第2号(1993年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	中世の女性と軍役 -合戦の場、軍役と女性の地位-	田端 泰子(女性歴史文化研究所所長/ 本学歴史学科教授)
2	女子学生の性別役割意識の分析 -役割志向性尺度を使って-	高橋 雅延(本学一般教養課程助教授)
3	文学にあらわれた妊娠中絶問題[I] -墮胎手術は「神の業」か「悪魔の業」か・『サイダーハウス・ルール』の世界-	鎌田 明子(本学一般教養課程教授)
4	延方普門院の船越地蔵と忍性	細川 涼一(本学歴史学科助教授)
5	女性研究の方法としてのオーラルヒストリー	山田 真規子(女性史研究者)

## 京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 創刊号(1992年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	創刊にあたって	田端 泰子(女性歴史文化研究所所長/ 本学歴史学科教授)
2	女性歴史文化研究所開設記念シンポジウム「女性史の新時代をめざして」 -女性史研究の現状と課題」記録集 パネリストによる発言(1)「北条政子と宗教」	マーティン・コルカット(プリンストン大学東洋学部、 歴史学部教授)
3	パネリストによる発言(2)「産業革命のなかの女工」	パトリシア・ツルミ(ヴィクトリア大学歴史学部教授)
4	パネリストによる発言(3)「中世の家と女性」	脇田 晴子(大阪外国語大学教授)
5	ディスカッション	マーティン・コルカット/パトリシア・ツルミ/ 脇田/田端
6	プロフィール	
7	英文翻訳	